



令和4年5月23日  
海上保安庁

## SAPPHIRE (サファイア) 22

### 2022年第1回 日米海上保安機関合同訓練 (結果概要)

～FOIPの実現に向けた日米共同取組「SAPPHIRE22」のキックオフ～

海上保安庁及び米国沿岸警備隊は、令和4年5月20日(金)、米国サンフランシスコ沖合において、海上保安庁巡視船「こじま」と米国沿岸警備隊巡視船・航空機による合同訓練を実施しました。

両機関は、今月18日、その連携・協力を通じて「自由で開かれたインド太平洋」を実現していくための文書\*に署名しており、本合同訓練は、それに基づく日米共同取組「SAPPHIRE (サファイア)」の本年第1回目となります。

\*2010年の協力覚書の付属文書

#### 1. 訓練概要

○日 時：

令和4年5月20日(金) 午後零時00分から午後2時30分まで(現地時間)  
(5月21日(土) 午前4時00分から午前6時30分まで(日本時間))

○場 所：米国カリフォルニア州サンフランシスコ沖合

○参加勢力：

- ・海上保安庁 (JCG)  
巡視船「こじま」(全長約115メートル)
- ・米国沿岸警備隊 (USCG)  
飛行機「C-27J」  
ヘリコプター「MH-65」  
救助艇(全長約15メートル)



巡視船こじま



C-27J



MH-65

○訓練内容：海中転落者の救助を想定した捜索救助訓練



救助艇

#### 2. 訓練結果

日米の海上保安機関である海上保安庁及び米国沿岸警備隊は、1948年の海上保安庁創設期より深く交流しており、2010年に協力覚書を締結して以降、さらなる連携協力関係の強化を図ってきたところです。

今回の訓練は、本年5月18日に海上保安庁と米国沿岸警備隊との間で署名した2010年の協力覚書の付属文書に基づく日米共同取組「SAPPHIRE (サファイア)」の一つとして実施したもので、本年第1回目の日米海上保安機関合同訓練です。

巡視船「こじま」は、海上保安大学校の実習生による遠洋航海を実施中であり、遠洋航海の米国サンフランシスコ寄港にあわせて、米国沿岸警備隊巡視船等と合同で捜索救助訓練を実施しました。

本訓練を通じて、日米海上保安機関双方の情報伝達・情報共有の方法や、捜索救助にかかる一連の流れを双方が確認し、捜索救助に必要な技術・知見を共有しました。また、本訓練は、巡視船「こじま」実習生が、外国の海上保安機関との連携の重要性を学ぶ貴重な機会となりました。

今後も海上保安庁は、「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向け、日米共同取組を通じて、米国沿岸警備隊との連携・協力を推進します。

#### <参考>

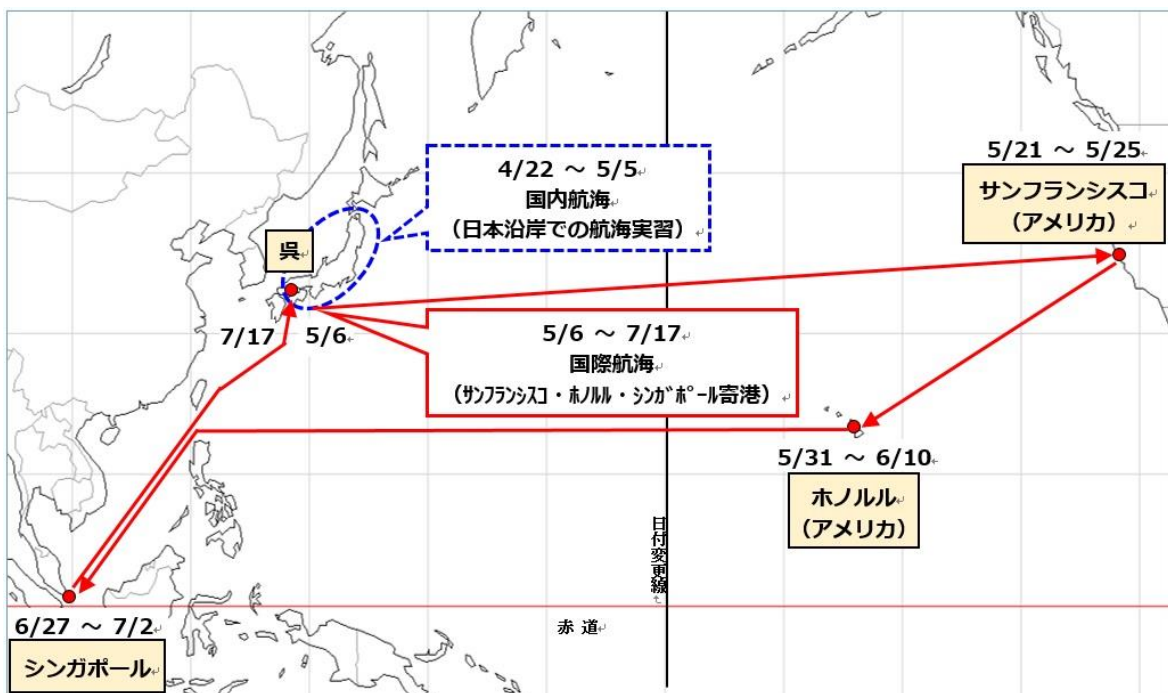
SAPPHIRE (サファイア)

- ・ SAPPHIRE : Solid Alliance for Peace and Prosperity with Humanity and Integrity on the Rule-of-law based Engagement
- ・ 日本語訳 : 法の支配の取組における誠実と仁愛に基づいた平和と繁栄のための強固な連携

#### <参考>

令和4年度巡視船こじま遠洋航海の概要について

- ・ 巡視船こじまでは、海上保安大学校の実習生に船艇初級幹部として必要な知識、技能を習得させるとともに、精神力、実践力及び統率力の練成を図り、国際感覚を養うため、毎年、遠洋航海を実施
- ・ 令和4年度の遠洋航海では、サンフランシスコ、ホノルル及びシンガポールに寄港する国際航海を実施
- ・ 期 間 : 令和4年4月22日～同年7月17日 (87日間)
- ・ 総航程 : 約19,000海里 (約35,188キロメートル)
- ・ 乗船者 : 実習生47名 (うち女性10名)、乗組員41名 (うち女性5名)



<参考>

米国沿岸警備隊（USCG：United States Coast Guard）の概要について

・組織概要

国土安全保障省に所属する海上法執行機関。太平洋と大西洋の2つの管区方面本部、その下に9つの管区を有する。

・勢力

職員約49,000人、船艇約1,900隻、航空機約200機

・主な任務

法令の励行、航行安全、海難救助、海洋環境保護、国防・有事対応

<訓練の状況>

① USCGと無線交信する「こじま」実習生



② 搜索海域を確認する「こじま」実習生



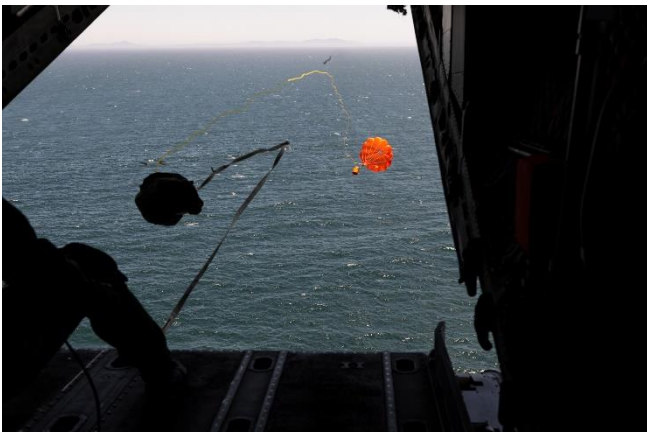
③ 行方不明者捜索中の「こじま」実習生



④ 救難ブイを投下するUSCG「C-27J」



⑤ 救難ブイを投下するUSCG「C-27J」



⑥ 救難ブイを揚収するUSCG「救難艇」



⑦ 遭難者の吊り上げ救助のため、「こじま」に接近する USCG ヘリ「MH-65」



⑧ 「MH-65」から降下する USCG の潜水士



⑨ 「こじま」飛行甲板に降下する潜水士



⑩ 握手する「こじま」乗組員と USCG 潜水士



⑪ 救助用バスケットを吊り上げる「MH-65」



⑫ 「こじま」と USCG 「C-27J・救難艇」の並走



⑬ USCG 救難艇に手を振るこじま実習生



※画像提供希望は、海上保安庁政策評価広報室 (jcghkouhou6-8b9i@mlit.go.jp) までご連絡ください。